

You と ピア 通信 | 第2号

「ピア」とは「仲間」という意味です。同じ悩みを持った者同士の対等な支援ということ。あなたとピアを結ぶ新聞～ユートピア通信～第2号をお届けします！

令和3年1月

【発行元】地域生活支援センターぱれっと・はだの 秦野市本町2-7-25 ☎0463-80-3294



ボイスピアとは？

ボイスは声、ピアはピアや仲間という意味で、ピア（仲間）の声を伝えたい！ということ。昨年9月に第一回ボイスピアが『ぱれっと・はだの』で開催されました。第一回は6名のピアサポーターが体験発表をしました。体験発表とはその名の通り、病気の当事者がその経験を発表することです。ピアサポーターが病気の経験を話すことで同じように病気で苦しんでいる当事者が病気で苦しいのは自分だけでない、リカバリー（回復）するんだ！ということを伝えることです。

その他、第一回ボイスピアでは

当事者による演奏会（2組）、のぞみ会（当事者家族会）の石川さんと海老名市のピアサポーターの尾山さんの講演がありました。

第二回ボイスピア

昨年のボイスピアは9月26日にzoomでの配信で行いました。テーマは「コロナ禍での生活〜つながりとは〜」です。体験発表は3名のピアサポーターが担当し、一昨年講演してくれた尾山さんが質疑応答の司会をしてくれました。最後は一昨年と同じく当事者による演奏会がありました。今回はコロナウィルスの影響で開催が危ぶまれましたが、配信という形でなんとか開催する事ができました。受講者も53名と、今回もたくさんの方に聞いて頂く事ができました。

体験発表

3名のピアサポーターがコロナ禍での生活について話をしました。zoomでの配信ということで、パワーポイントで資料を使ったり、原稿用紙を写したり、ピンマイクをつけて、音声を拾いやすくしたり、工夫しました。



質疑応答

6名のピアサポーターが1列に並び、カメラで撮影したものを配信するスタイルでした。事前にメールで来た質問、体験発表後に来たチャットで来た質問を尾山さんがうまくまとめられて、ピアに質問してくれました。

当事者演奏会

一昨年も演奏してくれた（宮浦さん）が今回もギター演奏をしてくれました。配信という事で画面越しでしたが力強い演奏が聞いてくれた方に伝わったのではないかと思います。



編集by松本

ボイスピアを終わって…

ピアサポーターの感想

今回、私はピアサポーターについての説明と体験発表、ZOOMの機材設定と3つをやりました。大変だったことは、ZOOMの設定です。画面越しにどう伝えるかを試行錯誤しました。
無事にボイスピアが成功して良かったです。ありがとうございました。(松本)



司会をしたので、少し緊張しました。無事終わったのでホッとしました。質疑応答では、自分の意見を素直に話せたので、良かったです。当事者演奏のMさんのギターと歌も素敵でした。(T・H)

私はボイスピアにて裏方としてカメラワークを担当しました。そこからは、みんな熱意ある姿勢が垣間見ることができました。あとは尾山さんがみんなに質問を振ってくれたことが良かったです。大変お世話になっております。とても楽しめた会かったです。(M・I)



コロナ感染拡大防止の中、皆さんは対応策や生き方を見出していて、生活が未曾有の中でピアという立場にも立って活動されていて、私はコロナの波に押し流されそうになり苦戦していますが、何としても突破していこうと思います。(匿名)



僕は質問会が一番楽しかったです。皆さんの関心事に触れて、新しく考えるチャンスが刺激的でした。皆さんの表情まで見られたのなら、もっと良かったのは間違いないです。次回は同じ空間で思い出を作りましょう。(H・A)



コロナ禍の中でのボイスピア。体調も優れない中臨んだが、目の前にお客さんがいないというのは、テレビ放送のようで実は楽しい。前回のその反響を踏まえての2回目は、今回の学習会の参加者の数で表れていた。そりゃ最高だ(^▽^)
(二ノ)

編集後記：昨年9月に行われたボイスピアの特集号。終了後すぐに新聞作りにとりかかったのですが、気が付けば2021年に…(汗)今号はピアサポーターの松本さんが主に作成しました。感想やピアサポーターに聞いてみたいことなど、ぜひご意見ください！(O)



イラスト by 二ノ